

## 12月8日発生地震の本校校舎の被害状況と授業再開について

12月8日深夜に起こった震度6強という今まで経験したことの無い地震に生徒の皆さんはとても驚き、不安を覚えたことでしょう。また、当日、地域の指定避難所に避難した人や自宅に被害があった人もいます。

さて、今回の地震により本校普通教室棟東側奥の基礎が損傷したり、校舎の壁にヒビが入ったりするなどの被害がありました。早急に青森県教育委員会の施設課建築担当の方々に複数回検査をしていただき、また、文部科学省から派遣された文教施設応急危険度判定士に慎重に診断していただいた結果、損傷した基礎部分上部の化学室・生物室・第2職員室を除いては、1年生から3年生までの授業等教育活動の使用に支障がないという判断をいただきました。

それに伴い、12月15日（月）より通常の授業を再開することになりました。

地震直後ということで、校舎内にはヒビ等がありますが、徐々に修繕して参りますので、ご了承ください

また、一部で校舎全体が10cmほど沈降し、渡り廊下のつなぎ目部分が崩落したという報道がありました。そのような事実は確認されておらず、誤情報であることを申し添えます。

生徒の皆さんには不便をかけることもありますが、今までどおり八東生らしく明るく、助け合いながら学校生活を送ってほしいと思います。

保護者の皆さん、安心して生徒を送り出してください。そして、引き続き本校の教育活動にご協力いただきたいと思います。

学校関係者・同窓生の皆さん、多くの方々からお見舞いのことばをいただきありがとうございました。今後ともご支援の程よろしく申し上げます。

令和7年12月12日

青森県立八戸東高等学校

校長 矢部 広明